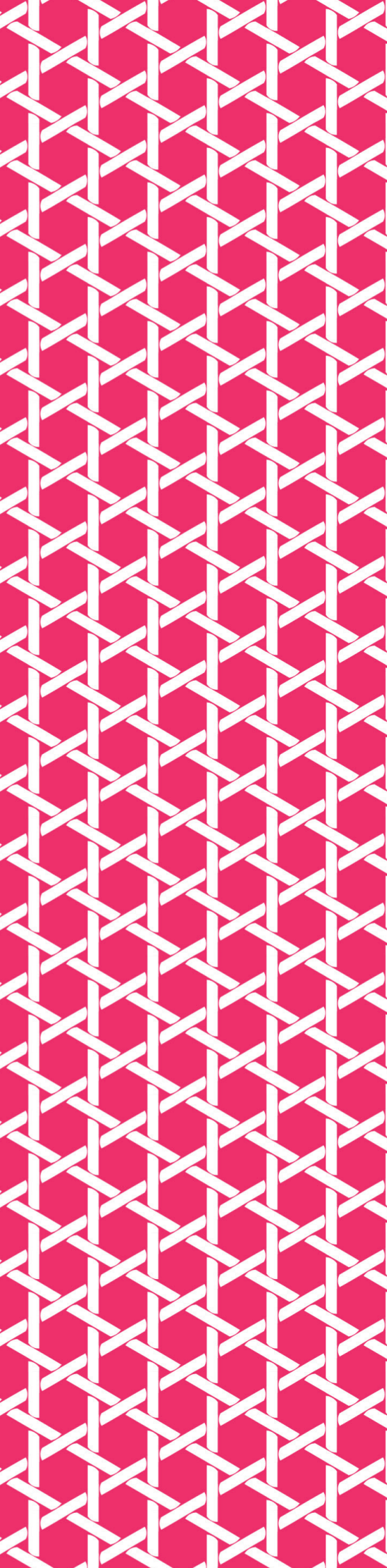


コウキョウ

」

シンボル



公共団体・公共施設に限らず、広く公共的に市民の生活に関係しているシンボルを集めました。

普段利用している馴染み深い施設や団体などの、新たなる発見につながればうれしいです。

#### <本項について>

- ・各公共施設・団体・個人等のご協力により、シンボル・画像等をお借りして掲載しています。
- ・本書内に掲載されているシンボル・画像・イラスト・文章・データ等の無断転載および無断転用をかたく禁じます。
- ・シンボルおよび画像の著作権・所有権・商標登録における権利等は、所有者（または貸出主等）に帰属します。
- ・上記、著作権等の権利やその他本書に関するご不明な点におかれましては、コウフシンボル 500 制作委員会（メールアドレス：kofulifelab+ks500@gmail.com）へご連絡ください。



### 甲府市 市章(市旗)



甲府市

明治39年(西暦1906年)10月に制定された甲府市の市章。2019年にこうふ開府500年を行い、同年に中核市へ移行

菱形の中央に亀がいるような甲府市の市章(市のシンボルマーク)。割菱の

形は、甲府を拠点とした武田氏の家紋からとったもので、亀甲模様は「甲」の字の象形文字と、市の長寿を意味する。また亀甲の頭尾四肢を内側に伸ばして接続すると「本」という字になり、中国の書『玉編』の中で「府は本なり」といわれることから甲府の「府」を意味する。紫色の割菱は甲府特産のぶどうの色、白地は平和を表す。「甲斐国の府中」がその名の由来である甲府は、縦に長く様々な地形に富み歴史・文化・自然が溢れており、沢山の美しい山々が望めることから、山の都とも称される。ワインを始め素敵な食文化も魅力の地。



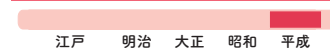
甲府市中心にある市庁舎。現庁舎は平成25年に竣工。1階にはロウン、2階には郵便局も併設されている。甲府市の木は「カシ」、市の花は「ナデシコ」、市の鳥は「カワセミ」である。

E1

シンボル 提供: 甲府市



### こうふ開府500年



甲府市

こうふ開府500年  
1519 - 2019

こうふ開府500年を記念するロゴマーク。「甲斐の府中」を略して「甲府」と呼ばれるようになった

甲府は永正16年(西暦1519年)、武田信虎が躑躅が崎の地に館を移し、城下町の建設に着手したことに始まり、2019年に500歳の誕生日を迎える。この記念の年を盛り上げる象徴としてマークは誕生した。

このマークは武田菱を結び目に見立てて、人と人・心と心をつなぐ象徴である「水引」を圖案化したもの。5本のラインは「開府500年」を指示し、過去・現在・未来と多彩な伝統・文化・豊かな自然などを結びながら、新たな歴史を築き、甲府のさらなる発展を表現している。作成者は須賀裕明さん。219点の応募より選ばれた。また、キャッチフレーズは「つなぐ歴史 かがやく絆 こうふ開府500年」で、申請を出すとロゴマークと一緒に使用することが出来る。

甲府市役所10階の展望ロビーからの眺め。展望ロビーへはだれでも行くことが出来る。街並みと自然と一緒に眺望することが出来て晴れた日は山の後線が美しい。

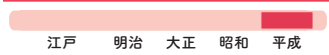


I0

シンボル 提供: 甲府市



### 甲府市立図書館



城東1丁目12-33

甲府市立図書館のマスコット“ブックン”は平成9年2月に市の鳥「カワセミ」を擬人化したイラストレーターの小澤保幸氏が作成。愛称は平成8年に公募し、愛称選定委員会が決定した

甲府市立図書館は大正15年(昭和元年・西暦1926年)12月に『甲府通俗図書館』として開館を開始した。その後、2度の改称を経て平成8年(西暦1996年)10月甲府市城東1丁目に現在の『甲府市立図書館』が建設された。甲府市立図書館から遠いところに住んでいる住民のために、約3,500冊の本をバスに積み甲府市内33か所を1か月に2回巡回する移動図書館「なでしこ号」を運行している。無料で利用できる駐車場があるほか、絵本の読み聞かせやおはなし会、視聴覚ホールでの朗読会や音楽会、会議室等での各種講座、展示室での展示会などを行っている。



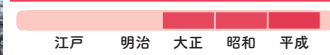
館内は広々としている。また建物の外はライブラリーブロムナード(図書館散歩道)と緩衝緑地による歩行者に快適な街路づくりをめざし、特に塀やフェンスなどを設けず、街路に向かって開かれた図書館として設計されている。

AM

シンボル・画像 提供: 甲府市立図書館



### 甲府市遊亀公園附属動物園



太田町10-1

動物のイラストが可愛い看板は遊亀公園内にある甲府市遊亀公園附属動物園の入り口に設置されゲート。きっとたくさん子どもたちがワクワクしながらこの下をくぐってきたに違いない

所在町名から太田町公園とも言われている。遊亀公園は遊具や噴水があるほか、遊亀公園附属動物園も併設する甲府市民憩いの場。毎年5月には、隣接する稲積神社の「正ノ木稲荷祭り」が行われ、植木市や露天等が出店して、たくさんの人で賑わう。動物園は、大正8年に開設され、昭和元年にアジアゾウを購入し、ゾウの飼育が始まり、昭和60年に中国の友好都市である成都市からレッサーパンダ2頭が寄贈されるなど動物の拡充が進められ、令和元年度に100周年を迎えた歴史のある動物園。甲府市のほぼ中心にある都市型の動物園のため敷地面積は約14,000mとそう広くはないものの動物をより近くで観察でき、だれでも気軽に楽しめる動物園となっている。

遊亀公園には亀が土台となった珍しい石碑も。かつては、公園内に野外音楽堂があり、コンサート等のイベントが開催されていたこともある。

DN



協力: 甲府市遊亀公園附属動物園

## 市立甲府病院



江戸 明治 大正 昭和 平成

増坪町366

病床数408床、31診療科を持つ甲府市の地域拠点病院。昭和7年に市立愛宕病舎の一部を普通病院として開院した

市立甲府病院では数か月ごとに「おしえてドクター&健康応援ひろば」という甲府市広報を作成しており、病気などの知識を患者に分かりやすく伝える工夫を続けている。

平成25年に『24時間テレビ36「愛は地球を救う」』内で放送されたスペシャルドラマ「今日の日はさようなら」のロケ地になった。市立甲府病院のロビーなどをドラマ内で見ることができる。ドラマの内容は「片田舎の温かい家庭で生まれ育ち、何事にも中途半端に生きてきた普通の青年・富士岡耕太。そんな彼を、ある日突然悪性リンパ腫が襲った。辛い治療の日々に翻弄される中、様々な人との出会いにより、耕太の中で何かが変わっていった。寛解、そして、再発。余命宣告を受けた耕太は自らの命の期限と向き合い、『ちゃんと生きて、ちゃんと死ぬ』ことを決意する。」といった深い内容で、印象深い人も多はず。視聴率は23.4%。

周囲には畑と住宅街が広がり、山を望む。



シンボル・画像 提供: 市立甲府病院

AM

## 甲府市リサイクルプラザ

江戸 明治 大正 昭和 平成

上町601-2

甲府市リサイクルプラザに所属するリサちゃんは甲府市のゴミ減量イメージキャラクター

リサちゃんは、平成3年から甲府市のごみ減量イメージキャラクターを務めている。リサちゃんの所属する甲府市リサイクルプラザは、限りある資源を有効活用する「廃棄物循環型社会」実現のため、ごみ処理施設の一環として平成9年に開館した環境総合教育施設。年間を通じて利用できる温水プール、浴室、トレーニング室、体育館、図書コーナーなどの施設を完備している。市内小中学生等は紙パックを集めて施設利用料が無料になるユニークな制度もある。



リサちゃんはゴミ出し日程表や甲府市のごみ分別アプリの顔にもなっている。

リサイクルプラザの外観、施設内の様子。さまざまな施設で市民に親しまれる憩いの場となっている。



シンボル・画像 提供: 甲府市

E1

## 上九の湯

江戸 明治 大正 昭和 平成

古関町1174

上九の湯の看板。緑深い谷あいを通れる芦川沿いにあり、川のせせらぎと四季折々の自然が心をなごませてくれる上九の名が残る日帰り温泉

古関町にある上九の湯ふれあいセンターは、国道358号線(精進湖線)沿いにある。以前は上九一色村の施設であった。平成18年、平成の大合併により、上九一色村は北側の梯と古関地区は甲府市になり、南側の精進と本栖と富士ヶ嶺地区は、富士河口湖町となる。

現在は、上九の名が残り地元で愛され続ける甲府市の公共温泉施設。露天風呂や、うたせ湯があり、芦川溪谷の自然を感じられる。泉温30度の低温泉。泉質はカルシウム・ナトリウム硫酸塩温泉。高アルカリ性泉で高い温泉効果が期待出来る。温泉スタンドや夏季はプール営業もある。

緑の建物の上九の湯。温泉スタンドでは1日10円で10日分購入が可能。隣には、上九ふれあい農産物直売所があり、地元名産で「甲府之証」伝承1号の「くいしきみぞ」やこんにやくなどが販売されている。



協力: 甲府市

AT

## 信玄公像

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目

甲府駅前に設置された信玄公の銅像。甲府の名所として観光客の撮影スポットにもなっている

信玄公像は、武田信玄公奉賛会が信玄公の遺徳をしのび、県民の気運を高揚することを目的に、県内外の有志1,080人から集めた浄財で建設された。昭和43年4月8日に建設を開始し、翌年4月12日(信玄公の命日)に完成し、甲府に寄付された。像は川中島の戦いの陣中における姿を模したもので、右手に軍配、左手には数珠を持ち、床几(しょうぎ:陣中や狩場などで使う、足の交差した腰掛)にどっかりと腰をおろしている。戦国時代に精鋭を誇った甲州軍団を、思うがままに操った名将にふさわしい堂々とした様子がかがえる力強い銅像。年末には念入りに洗浄が行われる。



台座、信玄公がそれぞれ3.1m、全長は6.2m。重さは約5,000kg。台座は山梨の塩山御影石で作られている。

シンボル 提供: 甲府市

AM



## 甲府移住ノート

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目18-1甲府市役所  
甲府コンシェルジュ移住・定住窓口

甲府移住ノートについているマークは、山梨のシンボル富士山と富士山の手前に広がる山々をモチーフとすることで山の都甲府を表現している

甲府市には、移住・定住を支えるコンシェルジュ機能があり、移住したい人を全力でサポートしている。『甲府移住ノート』は甲府への移住を考えている人だけではなく、「移住してみたい…」と思い始めた人にも使ってほしいノート。移住にあたっての気持ちの確認や整理ができたり、移住後の仕事・子育て・教育・生活環境など、必要な情報を細かく記入でき、甲府での暮らしを具体的にイメージする参考となる。『甲府移住ノート』は相談所でもらえる他、甲府市が運営するサイト「甲府の暮らし方」からもダウンロード可能。



東京などで行われる移住セミナーでも出張移住相談を行なっている。



甲府移住を検討している人向けのホームページ「甲府の暮らし方」甲府に住む人にとってほしいこと等を発信している。

シンボル・画像 提供: 甲府市

SH



## KOFUSAMURAI Wi-fi

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市

KOFUSAMURAI Wi-Fiエリアに貼ってあるシールのデザイン。平成27年に発足した甲府市、甲府市観光協会、東日本電信電話株式会社山梨支店、株式会社カプコンによる合同プロジェクト

地域活性化の取り組みの一つとして開府500年に向けて立ち上げられた「こうふSAMURAI Wi-Fiプロジェクト」。近年、国内外観光客、特に海外からのインバウンドには欠かせないツールとなっているフリーWi-Fiを提供している。公衆無線LANアクセスポイントによるWi-Fi接続環境の整備・拡大及びWi-Fiの利用促進に向けて、地域行政と大手企業が連携。平成31年の開府500年、さらには翌年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて環境の整備を行い、国内外訪問者の利便性の向上を狙い開始された。Wi-Fiを活用したイベント等の展開、甲府市観光情報等の配信や多言語対応コンテンツの作成配信も実施している。

甲府市と包括連携を行っている株式会社カプコンの「戦国BASARA」シリーズに登場する「武田玄信」のキャラクター活用を中心に、スタンプラリーなども実施されている。



シンボル・画像 提供: 甲府市

YT



## 甲府市型下水道用鉄蓋 (マンホール)

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市

市の花「ナデシコ」がデザインされた甲府市のマンホール(鉄蓋)。この鉄蓋は、平成7年度から使用され、新規下水道整備及び随時取り替えが行われている(実際に設置されているものはモノクロ)

描かれている市の花「ナデシコ」は、昭和37年に甲府市の花として制定された。ナデシコは、周囲を山々に囲まれ、酷暑・寒風となる甲府盆地の中央に位置する甲府市の気候に耐えて可憐で美しい花を大空に向かって咲かせることから、市の花に指定された。「ナデシコ」をモチーフに、内側(4つ)と外側(9つ)に分け、放射状に表現した細やかな図柄となっており、この模様が滑りにくさなどの機能性も兼ね備えているとか。このマンホールは平成7年度から使用され、新規下水道整備時及び随時取り替え等を行っている。色付けされたマンホールは特別仕様(通常はモノクロ)で、甲府市上下水道局1階のロビーで見ることができる。

シンボル 提供: 甲府市

E1



## 中道型下水道用鉄蓋 (マンホール)

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市内(旧中道地区)

中道町(右左口村と柏村が合併して発足)が甲府市に編入する前に設置を行なったマンホール。現在は甲府市となったため、古いものから徐々に交換され希少となりつつある(実際に設置されているものはモノクロ)

描かれているのは、旧中道町右左口(うばぐち)、上野原遺跡の発掘調査で発見された縄文式土器が6つ。中心には旧中道町の町章(“中ミチ”の図案化)が配置されている。この縄文式土器は、水煙(すいえん)が立ち昇るような姿をしているため「水煙把手付深鉢(すいえんとしてつきふかばち)型土器」と呼ばれ、旧中道町のシンボルとなっている。色付けされたマンホールは甲府市上下水道局1階のロビーで見ることができる。

甲府市南側エリアの旧中道地区は、自然豊かなエリア。採れたての野菜や果物を売っている直売所や、国の史跡に指定された甲斐桃子塚古墳のある曽根丘陵公園、山梨県立考古博物館などもあるので、マンホールを探しながらウォーキングしてみるのも良いかもしれない。

シンボル 提供: 甲府市

E1



古閑・梯農業集落  
排水施設用鉄蓋  
(マンホール)

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市(古閑・梯地区)

上九一色(かみくいしき)村時代、甲府市に編入する前に設置されたマンホール。現在は甲府市に統合されたため、古いものから徐々に交換されているため希少となりつつある(実際に設置されているものはモノクロ)

古閑(ふるせき)・梯(かけはし)集落は、芦川と中道往還沿いに在る旧上九一色村の集落。どちらも戦国時代から存在する地名で『甲斐国志』にもその名が登場する。

マンホールには、村の木「ヒメコマツ(別名:富士五葉)と村の鳥「コノハヅク」があしらわれ、左上には旧上九一色村の村章(“上九”の図案化)が配置されている。色付けされたマンホールは甲府市上下水道局1階のロビーで見ることができる。

古閑・梯地区は、芦川沿いの緑豊かなエリア。ドライブがてら上九の湯や上九ふれあい農産物直売所、寺川グリーン公園まで足を伸ばしてみるのはいかがだろうか。

E1

シンボル 提供: 甲府市



レア・デザイン信玄公マン  
ホール(鉄蓋)

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市内(甲府駅付近)

こうふ開府500年記念事業の一環として、特別に製作され平成30年に設置されたマンホール。実際に道路に設置されているのは1カ所のみとなっている

図柄には甲府市を代表する歴史的人物である「武田信玄公」の切り絵風のイラストをメインに、「武田菱」や「風林火山」「ナデシコ」が配置され、甲府らしさが表現されているオリジナルのレア・デザインマンホール。

甲府駅南口の武田信玄公之像を正面に臨む、平和通り沿いの歩道内に設置されているので、足元に気を留めて探してみるのも楽しい。

YT

シンボル 提供: 甲府市



こうふ開府500年記念  
ロゴデザインマンホール

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市(甲府駅付近)

こうふ開府500年のロゴマークを中心に重厚感のある家紋風デザインの鉄蓋を製作し、設置。実際に道路に設置されているのは1カ所のみとなっている

こうふ開府500年記念事業の一環、記念マンホールの第2弾として設置された。こちらも、設置されているのは甲府市内で1カ所のみとなっている。

こうふ開府500年のロゴマークは、甲府のシンボルともいえる武田菱を結び目に見立て、人と人、心と心を結ぶ象徴である「水引」を図案化しており、5本のラインは「開府500年」を示している。

設置場所は、甲府駅北口のよっちゃばれ広場の歩道内。南口に設置されたレア・デザインマンホールと合わせて発見してほしい。

YT

シンボル 提供: 甲府市



「戦国BASARA」信玄くん  
デザインマンホール

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市(甲府駅付近)

「こうふ開府500年記念事業」の一環として、こうふ観光PRおうえん団長である「信玄くん」をメインにデザインした限定の鉄蓋

信玄くんは株式会社カプコンのアクションゲーム「戦国BASARA」シリーズに登場する「武田信玄」をデフォルメしたオリジナルデザインで、2016年の信玄公祭りでは、ゆるキャラとして三次元化した信玄くんがデビューした。

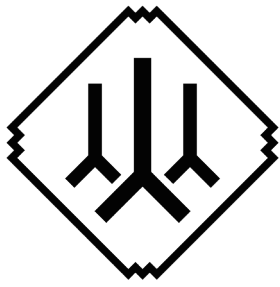
このマンホールは「こうふ開府500年記念事業」の一環として、こうふ観光PRおうえん団長である信玄くんをメインにデザインした鉄蓋を製作、甲府駅北口の甲州夢小路の歩道内に設置されたもの。

甲府市と「戦国BASARA」シリーズとがコラボレーションした専用サイトでは、鎧姿の樋口雄一甲府市長を見ることができる。普段甲府になじみのない人にも魅力を伝える機会になったのではないだろうか。

甲府市と「戦国BASARA」とのコラボレーション企画から全国初の地方自治体とゲーム会社の包括連携協定が行われた。この協定により、市内にある無料Wi-Fiの「KOFU SAMURAI Wi-Fi」のデザインや、毎年行われている「KOFU×戦国BASARA」スタンプラリーなどが生まれている。

E1

シンボル 提供: 甲府市



### 山梨県 県章

江戸 明治 大正 昭和 平成

#### 山梨県

昭和41年10月1日に告示された山梨県の県章(県のシンボルマーク)。公募で採用されたデザイン案が元となっている

周囲は富士山と武田菱でうわしい郷土を象徴しており、中は、3つの人の文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現している。

現在ある都道府県の県章の多くは1960年代に制定されており、特に各地で「明治百年」記念行事が開催された昭和43年前後に制定されている。山梨県の県章も昭和41年に制定された。ほかに県の鳥として「ウグイス」や県の花「フジザクラ」、県の獣「カモシカ」、県の木「カエデ」も制定されている。カモシカは、山岳地帯に生息し「忍耐・努力」を表し、ウグイスは春を告げる鳥で他の雛鳥を育てるといった習性から「明朗・慈悲」を表すなどそれぞれに制定された意味合いがある。

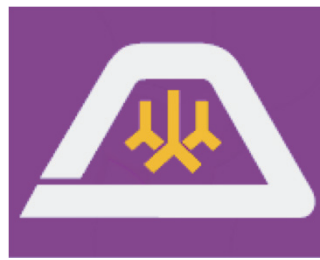


山梨県の全体図。13の市と14の町村で構成されている。多くの場所が森林に囲まれており、自然環境がとてつもない。また、富士山に登るための登山道もある。

#### 山梨県

シンボル 提供:山梨県

10



### 山梨県 県旗

江戸 明治 大正 昭和 平成

#### 山梨県

昭和41年12月に告示された山梨県の県旗(県の旗)

優雅なぶどう色を地に用い、中の3つの人の文字は、県民の和と協力、とり囲む白く太い線は富士山を表して、その意味は清廉、潔白、純粋性を表現している。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の限りない向上を願ったもの。作られた日は県章より少し遅いが、今でも県章と共に県のシンボルマークとして使われている。

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐国は、明治4年(西暦1871年)の廃藩置県で「山梨県」となった。「山梨県」の「やまなし」の由来は諸説あり、くだものヤマナシがたくさんとれたことや、山をならして平地にした「山ならし」が起源であるといった説がある。



県の花フジザクラは、4月から5月にかけて咲く花。寒さに耐えて咲く花は、「和と忍耐」を表現している。県内にはフジザクラの名前を使った学校があるなど、身近な存在である。

シンボル 提供:山梨県 画像 提供:やまなし観光推進機構

10



### 山梨県立図書館

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目8-1

#### 山梨県立図書館

YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

移転にあたり平成24年に制定されたシンボルマーク。全国から愛称部門3,797点、シンボルマーク部門1,512点の応募が寄せられた

シンボルマークは公募により選ばれた大澤元裕さんの作品。山梨(Yamanashi)のYをモチーフに、本を積み重ねた様子を表現した山梨県立図書館のシンボルマーク。積み重ねた本は、大地と大きく広がる若い芽も象徴している。愛称は「かいぶらり」。山梨の旧国名である「甲斐」と図書館の「ライブラリー」をかけて、気軽に立ち寄ることができる図書館を表現している。

明治33年(西暦1900年)に山梨教育会附属図書館として開館したのがその前身で、昭和6年に教育会から山梨県に寄付されて山梨県立図書館となった。平成30年より言語学者の金田一秀穂さんが館長をつとめている。



甲府駅北口から徒歩3分。多目的ホール・交流ルーム・サイレントスペースといった設備のほか、カフェも備え付けられている。読書をしながらゆったりとした時間を過ごすことができる。

シンボル・画像 提供:山梨県立図書館

AM



### 山梨県立科学館

江戸 明治 大正 昭和 平成

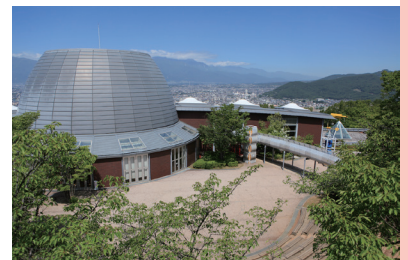
愛宕町358-1

平成10年から平成30年度まで、カガクスキーの名で親しまれていたキャラクター

館内には、スペースシアターや天体観測室・実験工作室や常設展示室など、様々な施設が備えられている。スペースシアターの光学式投影機「メガスター II A Kaisei」は天の川の星粒までもリアルに映し出し、表現豊かなデジタル映像を楽しむことができる。Kaiseiという名前には「甲斐の星を快晴の空のもとで見たい」という思いが込められている。2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智名誉館長の特別展示コーナーや、年間を通して宇宙に関連するイベントが開催されていることも見どころの一つ。「愛宕山こどもの国」の園内にあるため、恵まれた自然に囲まれながらアスレチックや遊歩道での散歩ができる。

愛宕山に建つ科学館。

南側の開放的なテラスからは、甲府盆地を一望でき、晴れている日には絶景の富士山が。ミュージアムショップでは、宇宙雑貨や実験グッズ、宇宙食などのオリジナルグッズを販売。お気に入りの土産を見つけれられるかもしれない。



シンボル・画像 提供:山梨県教育委員会

AM

## 山梨近代人物館

### 山梨近代人物館

The Museum of  
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目6-1

山梨県庁舎別館内に、山梨ゆかりの人物の功績を紹介する施設として、平成27年4月2日に開館した

人物館がある山梨県庁舎別館は貴重な文化遺産であり、山梨県の発展を支えてきた幾多の先人たちの思いが詰まった建物である。県内外の多くの人に山梨県の魅力を知ってもらうために、県庁舎別館内という利便性が高い場所に展示施設を整備している。先人たちが山梨県を舞台にどのような活動をしたのか、時代を超える記憶がこの場所に展示されている。開館時間は午前9時～午後5時までで、入館料は無料。



<導入展示室>導入映像とともに、50人の偉人がお出迎えしてくれる。各人物の功績や、人物が残した言葉などを紹介している。  
AM

<笹子隧道>中央線笹子トンネルを再現。笹子トンネルの歴史映像を楽しむことができる。  
シンボル 提供: 山梨近代人物館

## 山梨県立博物館

### 山梨県立博物館

Yamanashi Prefectural Museum

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

親しみやすい博物館を整備するため、シンボルと愛称が公募により制定された。愛称「かいじあむ」は甲斐とミュージアムをかけたもの

基本テーマは「山梨の自然と人」シンボルは山梨の頭文字「Y」を山梨の自然・歴史を表すぶどう色で表現し、博物館の建物を表す背景と組み合わせてイメージ。また、人を導くシンボルとして「歴史と文化にいざなう扉」がデザインされている。

自然系展示と歴史系展示を分けずに展示・収集し、調査研究活動、社会教育活動を行う。常設展示は原始時代～現代と時系列に沿った展示であるが観覧順序は自由導線。「水に取り組み」「信仰の足跡」といったテーマに沿った展示になっている。山梨の郷土資料「甲州文庫」「頼生文庫」「若尾資料」なども多く収蔵。高校生まで無料のほか一般520円など利用しやすい料金設定になっている。

スペシャルマスコット「さんりー」。

館内の「体験工房」は、山梨の歴史と文化を五感で体験できる展示。実際に資料を触ったり、昔の衣装を着たり、おもちゃで遊んだり、方言や民謡を聞くことができる。



AM

シンボル・画像 提供: 山梨県立博物館

## 山梨県立考古博物館



江戸 明治 大正 昭和 平成

下曽根町923

キャラクターの“いっちゃん”がいる山梨県立考古博物館は、山梨に生きた先人達の足跡に触れられる考古資料専門の博物館。芸術性の高い縄文土器が多数展示されている

考古博物館の収蔵品である国の重要文化財、一の沢遺跡(山梨県笛吹市境川町)出土の土偶をモデルとしたキャラクター「いっちゃん」。平成6年、考古博物館でのイベントの景品として渡すバッジのデザインとして考案。この土偶キャラクターは、一の沢遺跡にちなんでいつしか「いっちゃん」と呼ばれるようになった。平成24年夏、“ミュージアムキャラクターアワード2012”が開催。ミュージアムキャラクターの日本一を決める催しが行われ、ここに土偶キャラクターの「いっちゃん」も参加した。

いっちゃんのモチーフとなった土偶。縄文時代の女神と言われている。常設展では、旧石器時代の石器をはじめ、縄文土器や古墳から出土した副葬品など、県内各地の遺跡から発掘された考古資料を展示している。



SH

シンボル・画像 提供: 山梨県立考古博物館

## 山梨県立美術館



江戸 明治 大正 昭和 平成

貢川1丁目4-27

平成30年に作成されたアイコン。貢川の「芸術の森公園」内にある美術館。昭和53年の開館以来「ミレーの美術館」として親しまれている

平成30年に開館40周年を迎え、新たな試みとして「種をまく 世界がひらく」のキャッチコピーと、ミレー『種をまく人』のアイコンを作成した。『種をまく人』は、右足を大きく踏み出し、腕を力強く振り上げて種をまく人物を堂々と描いた作品。アイコンはその力強いポーズを、分かりやすく線画で表現している。キャッチコピーの「種をまく」には一歩を踏み出す、未来につながるという意味を託し、「世界がひらく」には、新しい世界が自然に開いていくというイメージを持たせている。美術館が皆さんの「種をまく 世界がひらく」きっかけになりたいという希望と、美術館もまた新しい「世界がひらく」ように歩み続けたいという決意が込められている。

公園にも多数の彫刻作品があり、館内にはミレー館の他、特別展示室や山梨ゆかりの作家の作品を紹介するテーマ展示室、甲府市出身の萩原英雄の作品を紹介する萩原英雄記念室がある。



SH

シンボル・画像 提供: 山梨県立美術館



## Yamanashi Jewelry Museum

### 山梨ジュエリーミュージアム

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目6-1  
山梨県防災新館1階

山梨ジュエリーミュージアムのシンボルマーク。国内有数の宝飾産地である山梨で制作されたジュエリーや山梨の宝飾加工の歴史を紹介している施設。ジュエリー制作体験も楽しめる

山梨県の宝飾産業の歴史は古く、江戸時代に水晶研磨の技術が京都から伝わり、県北部から産出した上質な水晶を加工したことが始まりといわれる。現在ではジュエリーにかかわるあらゆる業務が集中する、世界的にも珍しい「集積産地」である。

当館は、地場産業としての宝飾加工の歴史、伝統を受け継ぎながらも新しい挑戦を続ける卓越した技術、生み出される美しい宝飾品の数々を紹介し、「山梨ジュエリー」の素晴らしさを発信する施設となっている。

土日祝日には職人の指導を受けながら、宝石の研磨や、貴金属加工のジュエリー制作も体験できる。



シンボル・画像 提供: 山梨ジュエリーミュージアム

E1

山梨県内でデザイン・制作された多彩なジュエリーを企画展テーマに合わせて展示している。卓越した技術で細部まで作りこまれたジュエリーを堪能して。

### 藤村記念館 (旧睦沢学校校舎)

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目2-1

2回の移転の末、甲府駅北口に建つ甲府市藤村記念館。正面に掲げられた瓦は長年に渡り人々を見守っている



甲府市藤村記念館は明治8年(西暦1875年)に現在の甲斐市亀沢(旧睦沢村)に学校の校舎として建てられ、学校時代には60人ほどの学生が学んだ。昭和32年から公民館として利用された後、昭和41年に武田神社境内に、平成20年~22年に現在地へ復元・移築された。戦前の甲府に多数見られた、西洋建築に似せた「擬洋風建築」で国の重要文化財である。館内には藤村氏が子どもたちが就学することの重要性を説いた「学生解説」などが掲示されている。昭和47年には学校時代の卒業生によって睦沢小学校創立百周年記念誌も発行されている。



この建物自体がシンボルのようにも見える藤村記念館。入館無料で、館内にはピアノも設置され来館者が自由に弾くができる。周囲はバラに囲まれゆったりとした時間が流れる。窓からはよっぴば広場が見下ろせる。

協力: 甲府市教育委員会

E1



### 山梨県立愛宕山こどもの国

江戸 明治 大正 昭和 平成

愛宕町358-1

甲府盆地を一望できる標高428mの広大な愛宕山一帯に広がる公園の中にあるこどもの国のシンボルマーク

愛宕山こどもの国は愛宕山広域公園

の中にあり、大型遊具がある自由広場や変わった自転車に乗れる変形自転車広場、水遊びができるライオンの池など、子どもの遊び場が盛りだくさん。シンボルのように子どもがのびのびと体験ができる場所となっている。同公園には「少年自然の家」もある。

愛宕山には甲斐八景の一つに数えられ武田信玄ゆかりの場所としても知られる「夢見山」があり、伝説に思いを馳せることもできる。飯田ヶ原合戦の際、この夢見山に登って敵状視察を行った信虎がウトウトまどろんだところ、夢の中で間も無く生まれる子は曾我五郎の生まれ変わりであると告げられた。これが後の晴信、武田信玄であり夢見山の名の起こりとされている。



「夢の山 おろす嵐の激しさに まばらに未揺る 板垣の里」と古歌に記される夢見山。信玄が夢見山で寝っていると現れた艶麗な三味線弾きの女人の伝説の場所「夢見石」も必見。



シンボル 提供: 山梨県

AM

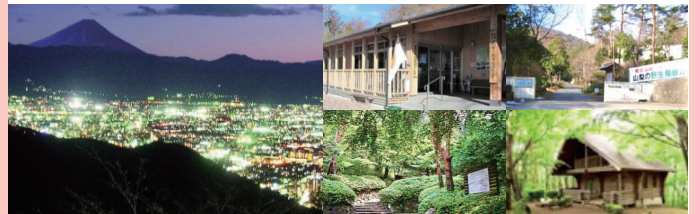
### 武田の杜 (たけだのもり)

江戸 明治 大正 昭和 平成

山宮町片山3371  
羽黒町片山1748

エコパークにも認定されている武田の杜。ロゴマークは武田菱をベースに、広大な深い森林を有する武田の杜を象徴するデザインとなっている

甲府市街地からほど近くに位置し、北辺の国有林、県有林、私有林合わせて2,500ヘクタールという広大な森林地域を有する武田の杜。区域内には樹木見本園、武田信玄ゆかりの要害山、鳥獣センター、キャンプ場、健康の森などが点在しており、健康の森にはサービスセンター、森林学習展示室、展望休憩室、野鳥昆虫観察小屋などの多彩な施設で構成。各施設は車道や遊歩道で連絡されており、四季折々の表情は大変美しく、森林セラピー基地としても認定されている。森林レクリエーションやトレイルランニングなどのイベントも行われている。



左) 武田の杜から望む富士山と甲府盆地。右) 左上から時計回りにサービスセンター、鳥獣センター、樹木見本園、キャンプ場の様子。これらをつなぐ遊歩道は、初心者~上級者コースまで様々なウォーキングが楽しめる。

シンボル・画像 提供: 武田の杜

E1



## 山梨県警察

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県

“ふじ君(ふじくん)”は、山梨県警察のマスコットキャラクター。イベントなどで活躍している

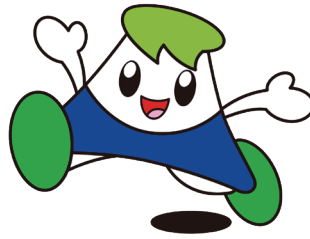
元々は、昭和61年に山梨県で開催された「かいじ国体」にあわせて誕生したマスコットキャラクター。「かいじ国体」に合わせ公募され、その公募から選ばれた作品を準備委員会から依頼を受けた甲府市のデザイナーがキャラクターとして製作。大会期間中「ふじくん」として使用された。「かいじ国体」終了後の昭和63年に「ふじくん」の原作者の承諾を得て、ランニング姿から警察官の恰好に変更した「ふじ君」を山梨県警察のキャラクターとして使用することとなった。



山梨県警察のホームページでは「ふじ君の実録?警察24時」というページがある。ふじ君が警察学校を卒業生代表で答辞を読み、その後は警察署の活動や施設を紹介している。

YT

シンボル・画像 提供: 山梨県警察



## やまなし県民文化祭

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県

平成12年度に誕生した「やまなし県民文化祭」のマスコットキャラクター“カルチャくん”、ゆるキャラグランプリにも出場している

カルチャくんは8才の男の子、好奇心旺盛でおちょこちょい。

好きな食べ物は、おつけだんごと鳥もつ煮、8才にしてはちょっと渋め。くちぐせは「～カル」で、例えば「～を行なっているカル!」。チャームポイントは笑顔と前髪。

もともとは平成12年度に誕生した「やまなし県民文化祭」のマスコットキャラクターで、平成22年に第28回国民文化祭「富士の国やまなし国文祭」のためにふさわしい姿にアレンジされた。

AM

シンボル 提供: 山梨県



## 山梨県立中央病院

江戸 明治 大正 昭和 平成

富士見1丁目1-1

明治9年の開院以降、山梨県民の医療を担ってきた地域の病院。平成22年に地方独立行政法人に移行し現在のシンボルマークが使われるようになった

山梨県立中央病院は、明治9年(西暦1876年)の開院以来、山梨県の高度医療機関として県民医療に大きく貢献するとともに、地域医療支援病院、エイズ拠点病院、第一種感染症指定医療機関、総合周産期母子医療センター、都道府県がん診療連携拠点病院などの公的な役割を担っている。また、高度救命救急センターの指定やドクターヘリ、ドクターカーを運用するなど、県内唯一の第3次救急医療機関としての役割を果たしている。平成25年にゲノム解析センターを新設、平成28年に最新機種の内視鏡支援ロボット「ダヴィンチxi」を新規購入、平成30年にがんゲノム医療連携病院に指定されるなど、先進的ながん医療にも力を入れている。

昭和45年に現在地に建設された旧病院の老朽化に伴い、平成17年に新築した。地下1～9階及び屋上にヘリポートを有している。現在の許可病床は644床。



シンボル・画像 提供: 山梨県立中央病院

AM

## 山梨交通

### 山梨交通

江戸 明治 大正 昭和 平成

飯田3丁目2-34

昭和20年5月1日に設立。山梨県の公共交通機関の要。創業期の軌道事業は、明治30年設立の山梨馬車鉄道が翌年に甲府～石和間で運行開始。山梨の交通を長年支えてきた

山梨交通株式会社は、山梨県の甲府盆地を中心とした地域、いわゆる国中地方の峡中・峡北・峡南・峡西・峡東地域及び静岡県において路線バスや観光バスの運行を行っているバス事業者である。活動地域としては、甲府盆地を主要なエリアとしており、平成30年時点では約100系統の路線を運行している。甲府以外では、塩山駅、韮崎駅、身延駅、富士川駅などを起点とする路線バスがある。また、バス事業以外にも公安委員会指定自動車教習事業(山梨交通自動車学校)や損害保険代理業、駐車場・不動産業など幅広い分野で事業を展開している。



双葉サービスエリア(下り線)の運営も行なっている。サービスエリア内のレストラン「富士山テラス」では甲州名物の「ほうとう」を食べることが出来、パン工房やフードコートもある。また、桔梗屋信玄餅などの地元特産土産を販売している。

IO

シンボル・画像 提供: 山梨交通(株)



## 山梨交通バス停

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市等

山梨交通のバス停の中で甲府市やその近郊で使われているデザイン。バス停の形状パターンは大きく2種類、円形のパターンと半円上部の長方形のパターンがある

基本デザインは円形のパターン、半円上部の長方形のパターン共に「桃と葡萄」が描かれている。また中には古い円形のパターンのもので、「桃と葡萄」デザインの仕様になる以前から使用していたと思われる「文字のみ」デザインのものも未だ現存する。「文字のみ」デザインにおいては、おそらく昭和の時代より使われているであろう墨筆文字のものからゴシック文字調のものまで多岐に渡っている。また「桃と葡萄」デザインは甲府市を中心に甲府盆地周辺で一般的に使われているものであるが、身延山周辺においては「桜と久遠寺」デザインや静岡県においては「みかん」と鳥居等」が描かれたものが存在する。

YT

シンボル・画像 提供:山梨交通(株)



## 富士の国やまなし

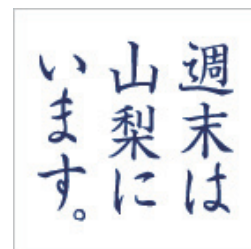
江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目6-1

やまなし観光推進機構が運営する富士の国やまなしのロゴマーク。充実した山梨の観光情報を中心に多くの人に魅力的な情報を発信している

やまなし観光推進機構は、平成25年に公益社団法人として新たなスタートを切った地域行政及び地元企業や諸団体等の会員制による組織である。これからの山梨の観光産業がより高い付加価値を生む産業となるために、平成29年度から国・県の進める観光推進機関である「日本版DMO」として活動。観光産業が地域発展の核となる事を目的としている。スローガンは「やまなしブランドの確立により地方創生に貢献します」。運営するホームページ「富士の国やまなし」では、さまざまな情報発信を展開、旅行会社・団体向けのページや移住定住者向けのページといったターゲットに絞り込んだコンテンツが充実しているのも特徴。

甲府の随所でみられる「週末は山梨にいます。」の名キャッチコピー。都心に暮らす人々の週末になったら山梨でゆっくり豊かに過ごしたい・・と思う心情に響く。ホームページには、通常モード以外に、かわいい「ハローキティモード」もある。



YT

シンボル・画像 提供:やまなし観光推進機構



## 武田菱丸(たけだひしまる)

江戸 明治 大正 昭和 平成

山梨県

武田家の家紋である武田菱と甲斐犬をモチーフにして平成22年に誕生した、山梨県の観光PRキャラクター

公益社団法人やまなし観光推進機構に所属している武田菱丸。ゆるキャラグランプリ公式サイトでは「勇敢で頭脳明晰、みんなに優しい。がまん強く、山梨の夏の暑さや冬の寒さにめっぽう強い山梨を大好きな甲斐犬の男の子です。富士の国やまなし観光キャラバン隊長を務め山梨県の観光PRに活躍する人気者」と紹介されており、その愛らしい顔から県民の認知度も高い。語尾に「マル」をつけるのが特徴。県の天然記念物の甲斐犬がモチーフとなっている。好物は陣中ほうとう、甲州とりもつ煮、好きなことばは「皆のもの～ 出陣じゃ～!」だそうで、可愛い風貌ながら勇ましい一面も。

「おもてなしやまなし」観光キャラバン隊長の「ひし丸」は、ブログや公式twitterでも大活躍。Twitterでのフォロワー数は9000人に迫る勢い。近年では信玄公祭りのポスターや公式ガイドブックの表紙も飾っている。



AM

シンボル・画像 提供:やまなし観光推進機構



## 甲府の証

江戸 明治 大正 昭和 平成

甲府市

「甲府の証」は甲府ブランド認定制度によって「甲府ブランド」に認定されたモノに与えられる認証マーク

「甲府の証」の認定制度は、平成25年度に制定された。甲府市の資源や技術、「甲府らしさ」といった個性を活かした特産品や加工品などの優れた商品を「甲府ブランド」として認定し、広報活動や販路拡大などの積極的な支援を甲府市が行う。甲府の良きモノとして日本中、世界中に発信することで地域経済の活性化を図る狙いがある。食品部門では、きみひめ大福に甲州地どり、帯那(日本酒)など。クラフト系部門では、指輪やペンダントなどのアクセサリー。農林産物部門では、シャインマスカットや信玄豚、くいしき味噌などが認定されている。



甲府の証のマークは部門ごとに3種類、シンボルが食品部門、写真左が農林産物部門、右がクラフト系部門。モチーフとなっている鳥は飛ぶ宝石とも呼ばれているカワセミ。

認定第1号のきみひめ大福(いつみ庵)。

E1

シンボル・画像 提供:甲府市



### 甲府駅北口まちづくり委員会の“キタグッチ”

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目14-14

「キタグッチ」の生年月日は、平成23年(西暦2011年)4月1日。甲府駅北口の

地中で眠っていたが再開されるので起きたようだ。キタグッチには夢があり、生まれ変わった甲府駅北口をみんなに見てほしい。みんなに北口周辺の施設を活用してもらいたい。そしてもっと賑わいのあるまちになってほしい。不労所得で暮らしたい。といった4つの夢がある。

北口まちづくり委員会は、「自らのまちは自らの手で」という合言葉を基に、地位住民が中心になり、まちおこしを行う組織である。

「キタグッチ」は時折イベントにも登場する。ふっくらしたゆるキャラが多い中、北という漢字を表現したその風貌はインパクト大。動く形がすぐ変わるあたりも気になるポイント。



シンボル・画像提供: 甲府駅北口まちづくり委員会

IO

DN



### ヴァンフォーレ甲府

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目6-10

ヴァンフォーレ甲府のチームエンブレム。山梨県唯一のプロサッカーチーム。チーム名の由来はフランス語で風(ヴァン)林(フォーレ)「風林火山」が基となっている

2020年現在 J2リーグに所属。過去には J1リーグに所属するなどの実績をもち、根強いファンに支えられている。地域密着型のチームとして、甲府市、韮崎市を中心とする山梨県全域をホームタウンとし、地域に寄り添いながら活動している。2020シーズンは元日本代表のハーフナー・マイクが9年ぶりに復帰し、4年

の J1 復帰を目指す。チームエンブレムは、チームカラーの青を基調にデザインされ、山梨の豊かな自然の象徴として県花「フジザクラ」を上部に配し、武田菱を用いてドウをイメージしたワインレッドで表現。中央の「VFK」は、ヴァンフォーレ甲府の略語であるとともに「Vital Fighting Knights(生き生きと戦う気品ある勇士たち)」を意味している。

チームエンブレムの他に、クラブロゴなどもある。マスコット「ヴァンくん」「フォーレちゃん」は、山梨特有の日本犬で国の天然記念物でもある「甲斐犬」がモチーフとなっている。



©2009VFK ©2006VFK



シンボル・画像提供: ヴァンフォーレ甲府



### かいてらす

江戸 明治 大正 昭和 平成

東光寺3丁目13-25

平成16年一般公募により愛称を「かいてらす」に変更。「かいてらす」には「山梨を地場製品の輝きで照らす」という意味が込められている

昭和60年9月に山梨県地場産業センターの名で開館し、平成16年に「かいてらす」の名称へ変更。広さ約1,100㎡の展示販売フロアでは、「光」「蔵」「味」「匠」の4つのコーナーを中心に、宝石・貴金属・ワイン・日本酒・菓子・茶・食品(味噌・醤油・煮貝・ほうとう)・和紙・印章・印伝・雨畑硯・繊維・民芸品など山梨県の地場産業製品を展示販売している。また、豪華なシャンデリアや、時価数億円の日本最大級的水晶玉など展示品もある。様々なイベントも行われており、地場産業を通じて人々の交流の場、山梨を知る施設として親しまれている。

ほぼ山梨県の中央に位置しているかいてらす。山梨無料駐車場(大型バス10台・普通車290台)あり、イベント時には、近隣の駐車場も開放される。展示フロアの他レストラン「ワインクラブ」や会議室もある。



シンボル・画像提供: (一財)山梨県地場産業センター

AT

E1

### 山梨平和ミュージアム -石橋湛山記念館-

江戸 明治 大正 昭和 平成

朝気1丁目1-30

平成19年開館。山梨平和ミュージアムではキーカラーとして、青:自由、白:平等、赤:博愛をロゴマークに使用している

山梨平和ミュージアムは戦争の事実と実装を次世代に伝えていくこと、平和・民権・自由主義を貫いた石橋湛山(いしばしたんざん)の生涯と思想を紹介することなどを目的と活動に定めた民間の記念館である。

1階では、企画展として1127人の市民が犠牲となった甲府空襲の実態を伝える資料や、甲府連隊の軌跡に関する資料などが展示され、2階では山梨で育ち、戦後には政治家として第55代首相に就任し病のため2ヶ月で退陣した言論人石橋湛山の資料が展示されている。



石橋湛山氏は、現在の南アルプス市にある長遠寺の住職(後に身延山久遠寺83世法主)のもとで育ち、現在の甲府第一高等学校で学んだ。施設外観、平和を発起するイベントの企画・開催なども行なっている。



シンボル・画像提供: 山梨平和ミュージアム



## 山梨県酒造協同組合

江戸 明治 大正 昭和 平成

国母4丁目15-5

日本らしい筆文字と外国人にも伝わる英語と、山梨を表現している武田菱に日本を連想する日の丸の入った「日」の文字で地域ブランドとしての思いが感じられる

山梨県酒造協同組合には山梨県内で日本酒を作る13酒蔵が加盟し、山梨の日本酒を一丸となってPRする取り組みを行っている。定期的に主催イベントを行ったり、各地のイベントに出店するなど精力的に活動している。また、ホームページでは日本語のみならず英語での発信を行い、外国の人々へ向けても情報を発信している。年2回やまなしプラザで行われるイベントでは、県内の13酒蔵が大集結し、県内外の日本酒愛好家が集う。近年では定員が設けられ当日券がわずかしか発行されないほどの人気ぶりとなっている。



「山の酒」として山梨県産日本酒をPR。「山の酒・山梨県原産地呼称日本酒認定酒飲み比べセット」は贈り物にも人気。様々な歴史のつまった各酒蔵の個性的な文字・デザインも楽しめる。

シンボル・画像 提供：山梨県酒造協同組合

E1

## 山梨県ワイン酒造組合 「ワインの国山梨」

江戸 明治 大正 昭和 平成

東光寺3丁目13-25  
地場産業センター2階

山梨県ワイン酒造組合が山梨ワイン普及のために開設したホームページのタイトルマーク

## ワインの国山梨

Yamanashi Prefecture Wine Manufacturers' Association.

「ワインの国山梨」のホームページを運営する山梨県ワイン酒造組合は、今や世界でも知られる甲州種のブドウを使ったワインなどを製造する山梨県内の76のワイナリーが加盟するワインの酒造組合である。江戸時代以前に甲州葡萄の栽培が始まり、明治時代に山梨県でワインの醸造開始、昭和30年に前身の果実酒酒造組合が設立、平成5年に名称を変更し、山梨県ワイン酒造組合となった。「ワインの国山梨」では、山梨ワインの歴史やワイナリー紹介、開催イベントやおすすめショップの情報などが掲載されており、山梨ワインの歴史の深さを知ることができる。



山梨県は日本一のワイナリー数と生産量を誇り2019年に「ワイン県」を宣言した。ワインに使われるブドウの品種は、甲州種をはじめとして多様化、山梨県内で開発された新しいワイン用品種も多数誕生している。

シンボル・画像 提供：山梨県ワイン酒造組合

E1

## NHK甲府「Newsかいドキ」

江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目1-20

「Newsかいドキ」は昭和34年開局のNHK甲府放送局で平成29年4月3日から放送している番組である



「Newsかいドキ」は山梨地域のローカルニュース番組である。甲斐の国・山梨の今を、取材によって掘り下げて、「ライブ感たっぷり」に伝えているニュース情報番組。山梨県内の気になる出来事や魅力の再発見に加え、生活情報など、山梨県民の「知りたい」をタイムリーに伝えている。「山梨のあした」を県のみなさんと一緒に考えることをテーマとして掲げている。放送時間は月曜日～金曜日の夕方18:10～19:00。また、番組のオープニングでは、池田綾子さんが歌う「言葉の箱舟」がテーマ曲として流れる。

シンボル 提供：NHK甲府放送局

10

## 山日YBSグループ

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目6-10

山日YBSグループは山梨日日新聞社、山梨放送(YBS)を中核とする総合情報メディアグループ。その他に印刷、広告、旅行、文化・スポーツイベント、ITなど、さまざまな分野へ事業を展開している

山日YBSグループは山梨日日新聞社、山梨放送(YBS)を中核とする、総合情報メディアグループ。YBSとは英語でYamanashi Broadcasting System Inc.の略称。明治5年(西暦1872年)に山梨日日新聞の前身「峡中(こうちゅう)新聞」を創刊、その歴史は1世紀半にもおよぶ。昭和29年(西暦1954年)に山梨放送が開局し、ラジオ放送・テレビ放送へとネットワークを広げ、新聞社・放送局を核としながら、さらには印刷、広告、旅行、文化・スポーツイベント、ITなど時代のパイオニアとして山梨県を牽引してきた。キャッチコピーは「あなたの、いちばんメディア。」

YBSで放送している「ててて!TV(毎週月曜日～金曜日15:50～16:50)」。県民と変顔でじゃんけんをする「変顔じゃんけん」や山梨県にあるご飯屋を特集する「はらべこ横町!」などの人気企画が放映されている。山梨日日新聞のテレビ番組欄では、YBSの番組表は黄色バックで掲載されている。



シンボル・画像 提供：山日YBSグループ

10

## UTYテレビ山梨



江戸 明治 大正 昭和 平成

湯田2丁目13-1

株式会社テレビ山梨は、山梨県を放送対象地域としたテレビ局。略称はUTY(UHF Television Yamanashi)

「Uワク♡UTY」はUTYでこれまでに使われてきたキャッチコピーのひとつ。他に「UバクUTY」「見て、視て、聞いて。」などがある。

TBS系列局として開局、山梨県内に系列局がないフジテレビやテレビ朝日、テレビ東京系列の番組も一部放送している。

現在(令和元年11月)の自社制作番組として、ニュース番組「UTYニュースの星(月曜-金曜18:15-18:55)」や、みなみおぼちゃんの登場する「みなみおぼちゃんの6丁目ガッチリ金曜日(金曜9:55-10:30)」など多数の番組があり、県民に親しまれている。

こちらのシンボルマークはUの字をかたどったもので「ライジングU」という。シンプルながらも躍動感あふれるフォルムが、企業の信頼感と活力を同時に伝えている。



シンボル・画像 提供:(株)テレビ山梨

10

## エフエム富士



江戸 明治 大正 昭和 平成

川田町アリア105

エフエム富士が平成30年に30周年を迎える際に公募にて決定された。力強い富士山とラジオの電波がシンプルに表現してある

昭和62年12月26日創立し、翌年8月8日に開局。山梨県甲府市に本社・スタジオ、東京都渋谷区代々木に支社・スタジオ(STUDIO VIVID)がある。代々木で収録した番組もあり、地方局ながら東京在住のミュージシャンがDJを務める番組も多い。

現在のロゴデザインは“FMラジオ局の役割を発展させながら、ラジオの枠にとどまらない分野に於いて、情報・人・物・ことが様々な形で交差し触発・発展していく「ターミナルterminal」の様な存在を目指していく”というテーマのもと、募集し決定した。

エフエム富士の受信エリアマップ。山梨県を中心に、千葉県や埼玉県のリスナーもいて、広いながらも全国放送とは一味違うローカルな話題が聞けるのも魅力。スマートフォンやPCなどから気軽にラジオを聴けるサービス「radiko(ラジオ)」での配信も行なっていて、過去一週間以内の放送を聴くこともできる。



シンボル・画像 提供:(株)エフエム富士

10

## エフエム甲府



江戸 明治 大正 昭和 平成

酒折2丁目4-5

山梨県甲府市酒折にある山梨学院大学のキャンパス内に本社を構えているFM放送局。周波数は76.3MHZ平成8年8月21日に会社設立、翌年開局した

山梨県甲府市の一部地域を放送区域として超短波放送(FM放送)をする特定地上基幹放送事業者である。

本社、演奏所、送信所は山梨学院大学のキャンパス内にあり、同大学の学生・教職員がパーソナリティーを務める番組などが放送されることもあり、同大学の放送局という色合いもある。毎年年末には、箱根駅伝に出場する同大学を応援する協賛CMが放送される。

県域放送局の山梨放送、山梨日日新聞と結びつきが非常に強く、平成27年まで本社が山梨文化会館(山日YBSグループ本社)にあった。

ラジオ放送の内容には、山梨県のサッカーチームである「ヴァンフォーレ甲府」の実況放送なども行っている。

山梨学院大学内のクリスタルタワー1階に構えている「エフエム甲府」のスタジオ。広場に開けており学生が行き交う。実際のラジオ放送の現場を間近で見ることが出来、近くに行くと内容を聴くことが出来る。



シンボル 提供:(株)エフエム甲府

10

## 山梨日日新聞

江戸 明治 大正 昭和 平成

北口2丁目6-10

山梨県の県域新聞の印象深い題字。略称は山日(さんいち)、山日新聞(さんいちしんぶん)。2019年12月には5万号を発刊した

明治5年(西暦1872年)に、前身の「峡中新聞」創刊でスタートし、地方新聞としては最も歴史ある新聞の一つ。発行部数は21万部。全県世帯普及率は約70%に達し、全国紙の方が普及する地方もある中、地方紙普及率は全国でも6位と高い。ちなみに、山梨県の新聞普及率2位は読売新聞の11%、3位は朝日新聞の8%となっている。

大きな文字とカラーページの多さでみやすい紙面となっており、独自取材による地域の話題が充実しているなど、親しみやすい新聞であることも普及率に影響していると思われる。「おくやみ欄」を毎朝チェックするという人も多い。毎日一面に掲載されるコラムの名称は「風林火山」で「風林火山書き写し帳」というノートも販売されている。

web上では「さんいちEye山梨日日新聞電子版」として、トピックごとに自分が知りたいニュースを探すことができる。pcやスマートフォンからアクセスできる便利なサイトとなっている。



シンボル 提供:(株)山梨日日新聞社

10



## 山梨新報

江戸 明治 大正 昭和 平成

湯田2丁目9-8 UTY会館2階

山梨新報の題字。株式会社山梨新報社が発行する山梨県の県域週刊新聞。現在はWEB版で紙面も公開している

テレビ山梨出資のもと、1973年8月11日に創刊。県内の読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞の各販売所に委託し毎週金曜日に発行を行っている(県内でも北杜市・北都留郡は郵送のみ対応)。新聞と名乗っているが日刊紙ではないことと日本新聞協会に加盟していないことから雑誌として扱われていることも多い。なお、当初は日刊紙として発行されていた。番組表はないが、テレビ山梨・FM-FUJIの番組案内が掲載されている。ホームページ上でその週のすべての紙面が閲覧できる(ただし、権利の関係上一部閲覧できない記事もある)。山梨新報のほかに関連出版物や各種イベント開催などにも携わっている。

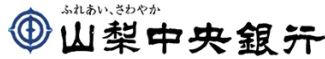
新聞の発行～販売業務に加えて、出版事業・イベント事業(教育・文化・スポーツ・芸能)・印刷事業・インターネット事業を展開。



シンボル・画像 提供:(株)山梨新報

YT

## 山梨中央銀行



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内1丁目20-8

山梨県甲府市に本店を置く、県内唯一の地方銀行

「地域密着と健全経営」を経営理念として山梨県甲府市に本店を置く山梨中央銀行は、地元山梨県内に多数の支店を開設、東京都西部を準地盤としてとらえ、八王子支店に西東京コンサルティング営業部を設置し、都西部には14店を構えている。さらに、香港に駐在員事務所(2021年度中に閉鎖予定)を設置し、香港・中国をはじめとするアジア全域への海外展開をサポートしている。山梨中銀金融資料館では山梨中央銀行の歴史や貨幣史、甲州財閥に関する展示をみることができる。また、女子9人制バレーボール部の実業団チームもある。

通帳やホームページなどには、サンリオのスポーティングベアーズが登場する。



山梨中央銀行が発行するクレジットカード一体型キャッシュカードJIMOCAは、クレジットカードと生体認証機能付ICキャッシュカードが一体となったカード。地元店でポイントが貯まる。

シンボル・画像 提供:(株)山梨中央銀行

E1

## 甲府信用金庫



江戸 明治 大正 昭和 平成

丸の内2丁目33-1

正式名称は甲府信用金庫。山梨県甲府市に本店を置く信用金庫。県内に27店舗ある。ニックネームは「こうしん」

当時の甲府商業会議所(現甲府商工会議所)および甲府市議会の議員有志により、中小零細企業の金融の円滑化を図るため大正7年に設立された。以来100年、「地元との共存共栄」の精神のもと、3つの基本理念を掲げ、積極的かつ堅実な経営を展開している。基本理念の一つ目は「支援力・営業力の進化」、二つ目は「人材力・組織力の進化」、三つ目は「経営力・内部管理体制の進化」。地元と共に成長してきた信用金庫。



甲府信用金庫のホームページを開くと、赤い糸で繋がった人々の手が目に飛び込んでくる。節目となる100周年のブランディング企画で、「次の100年もお客様とともに歩んでいく」という決意を表して作られたもの。

シンボル・画像 提供:甲府信用金庫

AM

## 山梨信用金庫



江戸 明治 大正 昭和 平成

中央1丁目12-36

正式名称は山梨信用金庫。大正15年(西暦1926年)11月、産業組合法による「有限責任共立信用組合」として創立した山梨県の信用金庫。略称は「やましん」

山梨信用金庫は山梨県全域、神奈川県相模原市、東京都八王子市・町田市を事業区域として、地域の中小事業者や住民の皆様が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている金融機関。

シンボルマークとして掲示されている金庫章については、HPに『山梨の誇る名水。その透き通る水滴に映る、青い空と二筋の白い雲。二筋の雲は勢いよく上方へ伸びながら、互いに交じり合い、山梨信用金庫の「y」を形作っています。これは、お客様と私たちの未来へ向かうコミュニケーションを表し、透明な水滴はクリーンなイメージを、また、清々しいブルーは若さと、新しい力を表現しております。』と書かれている。



口座残高や入金明細が、いつでも・どこでも簡単に確認することができるほか、入金明細ごとにメモを記入することができる「しんきんバンキングアプリ」など、webサービスも充実している。

シンボル・画像 提供:山梨信用金庫

AM

## 山梨県民信用組合



江戸 明治 大正 昭和 平成

相生1丁目2-34

山梨県甲府市に本店を置く信用組合。略称は「しんくみ」

山梨県民信用組合は、山梨県全域及び長野県佐久市(旧白田町全域)、南佐久郡、諏訪郡(富士見町)を営業地区として、「相互扶助」を理念とし、地域の中小企業・小規模事業者や生活者がお互いに支え合い、一人ひとりが預金しあい、必要な時に融資することを使命とする「中小企業等協同組合法」に基づく協同組合組織の金融機関。協同組合である信用組合は、組合員の利益を第一に考え、組合員の発展に貢献するとともに、金融事業の他、社会貢献事業においても積極的に取り組んでいる。

山梨県民信用組合では、「皆様のベストパートナーを目指して」と掲げ、地域に密着した金融機関として、組合員及び地域社会の発展、地域経済の活性化を目指している。



毎年、9月1日～7日の「しんくみの日週間」では、環境美化への取組みとして、清掃活動と「花の種」の配付を行なっている。また、8月～9月には、献血運動を実施しており、当組合では社会貢献の一環として、献血活動を広く知ってもらうため、厚生労働省が推進している「献血サポーター」活動に参加している。

シンボル・画像 提供: 山梨県民信用組合

AM

## 不老園



江戸 明治 大正 昭和 平成

酒折3丁目4-3

愛宕山の麓にある120年近い歴史のある梅園。30数種類、約2,000本の梅が植えられている

梅の木をイメージしたようなロゴマーク。

不老園は明治30年、甲府中心部で呉服商を営んでいた七代目奥村正右衛門が別荘として開園したもので、北海道を除く全国各地、特に九州地方から紅梅、小梅、夫婦梅、ブンゴ梅などを持ち帰ってはこの園に植え付けた。

当初は個人的な庭園として嗜んでいたが、その後、多くの人に梅の花を楽しんでもらおうと、一般にも解放した。

園内には梅以外にも、赤松、桜、南天、つつじ、もみじ、牡丹等が栽培されており、秋には紅葉を望むこともできる。「甲斐路の春は不老園のから」といわれる程の名所となっている。



フォトコンテストも行われている。左の写真は2019年の推薦作品。

梅天神(御祭神菅原道真公)の御霊。国を鎮め守る神として、平安時代中期にその御霊をお祀りすべく造営された「北野天満宮」より分霊された。

シンボル・画像 提供: 不老園

SH